

卒業研究 I

科目ナンバリング THE-401
必修 2単位

平沼 晶子

1. 授業の概要(ねらい)

私たちは生涯にわたり変化し続けていく。本演習ではこうした生涯発達心理学の視点に立ち、胎児期から老年期に至るまでの人間の様相を概観したうえで、各自が探究したい領域ごとにグループを編成して、文献や資料を収集して読み込む。そして、各グループで調べた内容を発表し、討議を行うことにより課題を見出し、問題解決のための理解を深めていく。

2. 授業の到達目標

- ①探究したいテーマに関する情報を収集して問題を発見し、分析・整理することで解決につなげる。
- ②発表に向けて資料を作成し、説明の仕方を工夫する力を身につける。
- ③グループでの検討、発表、および全体での討議において積極的に取り組み学びを深める。

3. 成績評価の方法および基準

授業参加態度(40%)、グループ研究活動・発表内容・研究発表のふり返り(60%)を総合して評価する。発表に基づき、ゼミ生同士での意見交換および教員によるフィードバックを行う。

4. 教科書・参考文献

参考文献

鈴木 忠ほか著 『生涯発達心理学』 有斐閣アルマ

5. 準備学修の内容

関連する文献や資料を読み込み、グループでの検討および発表に向けて積極的に準備を行う。

6. その他履修上の注意事項

関心のあるテーマの探求は大学生だからこそ得られる貴重な機会であり、自らの学びを深めていってもらいたい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション:演習内容等の説明
- 【第2回】 関心のある研究領域の報告と自己紹介・グループ分け
- 【第3回】 グループごとに計画を立てる
- 【第4回】 文献・資料収集についてのガイダンス
- 【第5回】 発表の準備①
- 【第6回】 発表の準備②
- 【第7回】 発表の準備③(オンライン)
- 【第8回】 グループ研究の発表と討議①
- 【第9回】 グループ研究の発表と討議②
- 【第10回】 グループ研究の発表と討議③
- 【第11回】 グループ研究の発表と討議④
- 【第12回】 グループ研究の発表と討議⑤
- 【第13回】 グループ研究の発表と討議⑥
- 【第14回】 今後の研究に向けた立案
- 【第15回】 ふり返りとまとめ